



2013年11月17日(日)



場所：地球市民かながわプラザ

横浜市栄区小菅ヶ谷 1-2-1



フェアトレードと東北被災地支援

～ネパールとの21年間の歩みが支えた 陸前高田・椿油プロジェクト～

2011年3月11日、東日本を襲った未曾有の大震災。炊き出しと物資支援に駆けつけた被災各地で目にした信じがたい惨状。以後、2年半継続してきた支援は、時間の経過と共に緊急支援から長期支援へ。気仙地域の方々と共に、古くから地元で伝わる椿油の製造販売による地域復興を目指し、椿油プロジェクトを立ち上げ、2012年10月、陸前高田市に椿油を製造する工房を建設しました。

かけ声とは裏腹になかなか進まぬ復興。世間の関心も薄れつつある現状にあって、これからも寄り添い続け、生活再建を図るには、持続可能な事業展開を目指すことが必要です。高い評価をいただく椿油に椿の葉、北限のゆ

ず、伝統野菜の自根きゅうり、三陸ワカメのエキスに、ネパールのハチミツも加え、岩手の被災地で頑張る人々と、ネパリーが長くお付き合いしてきたネパールの生産者がつながる、フェアトレード化粧品を、11月、発売することとなりました。

これまでの21年間のネパールとのフェアトレード活動が基盤となり、東北被災地支援活動を続けてきました。地球各地で起こる自然災害や紛争は後を絶ちません。これからの社会を生きる地球市民として、ローカルな活動がグローバルな問題解決につながることを信じて、私たちに何ができるか、考えるきっかけになることを願います。

場所：**5 F 映像ホール** 参加費(資料代) ¥500 定員 120名

13:30～13:40 ネパリー・バザー口活動紹介

～国際協力フェアトレード～

13:40～15:00 椿油プロジェクトの夢

椿油プロジェクトがきっかけでつながりが生まれた、ネパールの養蜂生産者の様子もご紹介いたします。

(進行役)
「東北の生命力」著者・・・瀬戸山玄
ネパリー・バザー口代表・・・土屋春代
製油工房『椿のみち』工房長・・・武田景子

～被災地で試みるフェアトレード～

止むにやまれぬ思いに突き動かされて突っ走るように続けてきた震災支援。四ヶ月後に出会った陸前高田の武田さんと共に、悩み励まし合いながら築いてきた椿油プロジェクト。その強い想いやさらに広がる可能性を、東北とのかかわりの深い瀬戸山さんが掘り下げていきます。

15:00～15:15 質疑応答

15:15～15:30 休憩

15:30～16:30 コンサート
アカペラカルテット XUXU

『camellia ～椿のうた～』 他

「しゅしゅ語」と称した独自のスキヤットと、オリジナルアレンジで、あらゆるジャンルの音楽を、色鮮やかに歌い上げる女性だけのヴォイスパフォーマンスグループ。ネパリーのフェアトレードの活動や椿油プロジェクトに共感し、応援しています。

場所：**1 F 多目的室**

参加費 ¥1000 定員 50名

17:30～19:00

試食&交流会

椿油を使った料理や、ネパールのスパイスが効いたカレーをご用意しています。椿の実の選別体験もできます！

椿油はもちろん、ネパールから届いた、フェアトレードのスパイスやほちみつもお味見頂けます！

Menu カルパッチョ、洋風冷奴
けんちん汁、キーマカレー
野菜の塩昆布炒め etc



ぜひご参加ください！

場所：**2 F ショップベルダ** **10:00～18:00** 天然素材の衣類や雑貨も満載です！ご来店をお待ちしています！

■岩手×ネパール

つながりから生まれたコスメ「クーネ」のトライアルセットを、この日限り、特別価格でご紹介いたします！お試しもできます！



■ネパール生産者 パネル展



はちみつ生産者 養蜂設備は非常に安く、簡単に地元材で作ることができるので、土地や資本のない生活の厳しい農家の方々でも始めることができ、収入向上につながります。「クーネ」に配合している、ネパールのはちみつ生産者の様子をご紹介致します。

主催・問合せ先：ネパリー・バザー口

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 4-10-15 <http://verda.bz>

TEL:045-891-9939 common@nbazaro.org

共催：神奈川県立地球市民かながわプラザ

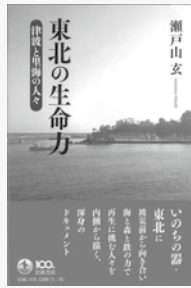
(指定管理者(公社)青年海外協力協会 (株)金港美装)

ドキュメンタリスト 瀬戸山玄



鹿児島県生まれ。写真作法を若き日の荒木経惟氏に学び、写真家・ノンフィクション作家として活躍する。テーマは風土と人間。食や生活をめぐる取材を続け著書多数。近年は映像の仕事

も展開し、芸術家や職人など仕事の現場を撮り続け、東北の取材は20年以上続けている。



**東北の生命力
津波と里海の人々**

東北沿岸の暮らしと自然を長年追いつけてきた著者にとって、東日本大震災は衝撃だった。津波と原発事故をこえて海辺での生活を新たに始めようとする、長い交流のあった人々と関わり、深く見つめる。地域の再生に、本当に必要なものは何か。農業、漁業、ものづくりなどを多様に結ぶ、日本の地場が震災以前から持ち続けてきた力を問い直し、日本人の生き方を問うドキュメント。最終章ではネパリ・バザールが陸前高田で取り組む、国内フェアトレードの椿油づくりを詳しく紹介する。

出版：岩波書店 著者：瀬戸山玄
税込¥2,310 (税抜¥2,200) ページ数：192頁

ネパリ・バザール代表 土屋春代

中学校時代に知ったネパールの子どもたちの厳しい状況と、その20数年後に聞いた状況が殆ど変わっていないことに



衝撃を受け、教育支援活動を始めた。しかし横たわる深刻な貧困問題に直面し、仕事の機会創出のため1992年ネパリ・バザールを設立した。震災後は東北被災各地を走り回り、支援を続け、今に至る。

ネパリ・バザール製油工房 『椿のみち』工房長 武田景子

障がい者福祉の仕事をしていて、震災支援を受けるなかで土屋氏に出会う。津波に負けずに花を咲かせた椿で、障がい者と共に働けるものを創りたいという願いが、この工房になった。工房で働く人は、障がい者から家庭事情で一般就労が難しい人へ変わったが、ここで働ける喜びをかみしめながら、誰でも集いやすい工房を目指す。



ネパリ・バザール

共に生きるために

ネパリ・バザールは、ネパールのハンドクラフトや食品の企画、開発を行い、継続的に輸入を続けることによってネパールで厳しい生活を余儀なくされている人々の就業の場の拡大を目指しています。NGOベルダレルネーヨのトレード部門として活動しています。ベルダレルネーヨの活動は、ネパールに学校を作り、子どもたちの支援をすることを目的としていましたが、子どもたちが学校へ通えない背景には、学校の有無ではなく、その家庭の貧困問題があることに辿り着きました。貧困改善のために、仕事の機会を創出し経済的な自立を促すことが必要と考え、1992年8月、輸入販売活動を開始しました。以来、頻りに現地を訪れ、生産の現場を見て、生産者から直接話を聞き、改良箇所を討議したり、企画開発を行うなど顔の見える関係を大切に、強い信頼関係に基づくパートナーシップを築いてきました。日本では、生産者に継続して注文が出せ、収入の安定につながるように販路の維持拡大に努めながら、ネパールや生産者を紹介する講座やイベントを行い、活動へのより一層の理解を呼びかけています。また、近隣の障がい者地域作業所での仕事創りにもこだわり、立場の弱い人々がより多く就業の機会を得られ、共に生きていける社会の実現に少しでも寄与できればと考えています。さらに2011年3月11日の震災以降、様々な被災地支援を続けています。

アカペラカルテット「XUXU - しゅしゅ -」

2002年にメジャーデビュー。2009年、三陸大船渡ふるさと大使に就任。2011年3月19日・20日に大船渡市で開催予定であった「第21回全国椿サミット 三陸・大船渡大会」に向けて、『camellia ~椿のうた~』を含めた3曲を、作詞・作曲・歌唱を協力し、大船渡市観光物産協会がCD1000枚を制作。本来であれば、3月11日に大船渡市へ納品される予定だったが、震災により配達途中で行方が不明に。20日後の2011年3月30日に全枚数が見つかったことに希望を感じ、なんとかこの作品を

大船渡の復興支援に役立てたいと思い、大船渡市観光物産協会より全枚数を買取り、内250枚を大船渡市へ寄贈、残りの750枚を販売し、その売上を全額大船渡へ寄付する。現在もCD販売による支援活動を続ける。



主催・問合せ先：ネパリ・バザール
TEL:045-891-9939 FAX:045-893-8254
common@nbazaro.org
<http://verda.bz> (通販ページ)
<http://nbazaro.org> (活動ページ)

場所：地球市民かながわプラザ

横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 (愛称・あ〜すプラザ)

- 1F 試食&交流会会場 多目的室
- 2F 直営店 ショップ ベルダ
- 3F セミナー会場 映像ホール

JR本郷台駅より、徒歩3分!

